

第33回日本作業行動学会定時社員総会議事録

日本作業行動学会定時社員総会（以下「社員総会」という。）の招集：2023年6月2日（金曜日）

議決手続き：2023年6月8日（木曜日）から2023年6月13日（火曜日）

議決：2023年6月17日（土曜日）15時30分から16時00分

開催場所：福島県福島市栄町10番6号 福島県立医科大学福島駅前キャンパス

有効会員数：43名

委任状提出および議決権行使：35名

議長：石井良和

書記：二村元気

第一号議案	2022年度活動報告
第二号議案	2022年度決算報告
第三号議案	2023年度活動計画
第四号議案	論文表彰
第五号議案	人間作業モデル認定セラピスト
第六号議案	研究助成
第七号議案	次年度の学術集会
第八号議案	2023年度予算

議長・書記解任

第一号議案 2022年度活動報告

1 <社員総会>

WEB上で、2022年6月3日に社員総会の招集を、2022年6月6日から2022年6月12日に決議の手続きを、2022年6月18日の16時30分からハイブリット型バーチャル形式で決議を行った。

2 <学術集会>

2022年6月18日（土曜日）と同年6月19日（日曜日）に現地およびオンライン開催した。

3 <講演会、講習会>

開催はしなかった。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

18論文の新規投稿があり、作業行動研究第26巻第1号、同第2号、同第3号、同第4号を発行した。毎号につき機関誌「作業行動研究」を600冊発刊した。

5 <会員>

現在会員数471名（2023年5月15日現在）

6 <運営のための会議等>

2022年4月12日

社員総会の招集と提案内容について審議をした。

2022年4月26日

社員総会の議案事項について審議した。

2022年5月7日

表彰論文、機関誌編集委員の組織体制について審議した。

2022年5月23日

社員総会議案について審議をした。

2022年7月17日，2023年1月5日

人間作業モデル認定セラピストについて審議した。

7 <事務局>

会員の入退会処理、会費管理、税務管理、機関誌印刷と発送の運営実務を担当した。

8 <人間作業モデル認定セラピスト等>

本学会の人間作業モデル認定セラピストが、日本作業療法士協会認定作業療法士新規取得要件のうち、他団体・学会等の認定資格取得の事例報告要件となることが確認された。

→ 以上、異議なく承認された。

第二号議案 2022 年度決算

1 貸借対照表

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,818,833	流動負債	0
現金及び預金	5,818,833	固定負債	0
固定資産	0	負債合計	0
有形固定資産	0	(純資産の部)	
無形固定資産	0	基金	0
投資その他の資産	0	利益剰余金	
		その他利益剰余金	5,818,833
		(うち当期純剰余金)	△ 261,682
		純資産合計	5,818,833
資産合計	5,818,833	負債・純資産合計	5,818,833

2 損益計算書

損益計算書 (自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
(経常損益の部)		
経常損益		
事業収益		
会費等収益	1,993,000	
学術集会参加費等収益	620,285	
販売収益	10,340	
受取寄付金	200,000	
	2,823,625	
財務収益		
受取利息	13	
雑収益	21,026	
	21,039	2,844,664
経常費用		
事業費用		
旅費交通費	128,840	
支払助成金	460,000	
諸謝金	245,002	
賃借料	40,000	
印刷製本費	1,474,485	
	2,348,327	
管理費用		
福利厚生費	92,307	
通信費	41,336	
会議費	140,000	
事務委託費	321,700	
消耗品費	70,195	
支払手数料	21,481	
	687,019	
財務費用	0	
		3,035,346
経常利益		△ 190,682
(経常外損益の部)		
経常外収益	0	0
経常外費用	0	0
税引前当期純利益		△ 190,682
法人税、住民税及び事業税	71,000	
法人税等調整額	0	71,000
当期純利益		△ 261,682

監査報告書

監事意見書

一般社団法人 日本作業行動学会
会長 石井 良和 様

意見書作成日 2023 年 5 月 13 日
一般社団法人 日本作業行動学会

監事 岩瀬 義昭 

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

- 1 私は、必要と認めた監査手続を実施して、財務諸表、領収書等を閲覧調査し、当法人の状況を正しく示しているかどうかについて監査を行いました。
- 2 監査の結果、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。また、財務諸表、領収書等は当法人の状況を正しく示しており、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

→ 以上、異議なく承認された。

第三号議案 2023 年度活動計画

1 <社員総会>

2023 年 6 月 2 日に社員総会の招集を、2023 年 6 月 8 日から 2023 年 6 月 13 日に決議の手続きを WEB 上で行い、2023 年 6 月 17 日の 15 時 30 分から現地で決議を行う（開催場所 福島県福島市栄町 10 番 6 号 福島県立医科大学福島駅前キャンパス）。

2 <学術集会>

第 32 回日本作業行動学会学術集会（川又寛徳大会長、日時：2023 年 6 月 17 日・18 日、開催場所 福島県福島市栄町 10 番 6 号 福島県立医科大学福島駅前キャンパス）を、現地開催とする。

3 <講演会、講習会>

人間作業モデル関連研修会の開催を検討する。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

本年度より 2 年の任期で、以下の編集委員を委嘱するとともに、新たに 3 名を推薦し、本人から承諾が得られた場合、編集協力者とする。現編集協力者は、退任の希望がない限り委嘱を継続とする。

編集委員長 南征吾

副編集委員長 鹿田将隆、篠原和也、永井貴士

編集委員 井口知也、石井良和、大松慶子、川又寛徳、京極真、小林隆司、高木大輔、谷村厚子、中村裕美、村田和香、藪脇健司

編集協力者 石橋裕、小林法一、竹原敦、丁子雄希、本家寿洋、宮寺寛子、村仲隼一郎、安永雅美

新たに編集協力者として推薦するもの（以下、3 名）

・杉山いずみ氏 神奈川県立保健福祉大学

・野村健太氏 目白大学

・馬場順子氏 群馬パース大学

投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討を行う。

機関誌「作業行動研究」第 27 巻第 1 号、同 2 号、同 3 号、同 4 号の発行を行う。各巻の発刊部数は 600 部とする。

5 <会員>

会員の入会を促進する。

6 <運営のための会議>

運営にあたる会議（2023 年 4 月 8 日、同年 4 月 25 日、同年 5 月 29 日）を開催する。

7 <事務局>

会の運営の実務を担当する。

→ 以上、異議なく承認された。

第四号議案 論文表彰

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、今回の表彰は、以下の通り、編集委員会の推薦を受けて、理事会で決議された。

【研究論文】

山田孝・他：認知症高齢者における「生活行為の障害に対応した支援プログラム」の効果：～ランダム化比較試験～. 26 巻 4 号 p188-197

馬場順子・他：神障害者の就労継続に影響する就労準備性と作業参加の特徴に関する検討～就労支援のための訓練生用チェックリストと人間作業モデルスクリーニングツールを用いた分析～. 26 巻 2 号 p73-80

【事例報告】

大澤彩・他：10 年にわたり転職を繰り返した高次脳能障害者の就労定着支援—人間作業モデルにより気付きを得られた事例—. 26 巻 2 号 p81-91

→ 以上、異議なく承認された。

第五号議案 人間作業モデル認定セラピスト

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、第 33 回社員総会で認定を受ける者は以下の会員である。

- ・坂元悠太氏 (IMS グループ イムス札幌内科リハビリテーション病院)
- ・久木崎航氏 (株式会社未来図 Labo)

→ 以上、異議なく承認された。

第六号議案 研究助成

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
2022 年度申請者は青柳翔太氏、木村夏実氏の 2 名であり、この 2 名の採択が理事会でされた。

→ 以上、異議なく承認された。

第七号議案 次年度の学術集会

大会長は、永井貴士氏とし、平成医療短期大学において現地開催を計画する。

→ 以上、異議なく承認された。

第八号議案 2023 年度予算

1 2023 年度予算案

2023年度（令和5年度）予算案
（自令和5年4月1日 至令和6年3月31日）

（単位：円）

科 目	前年度決算額	当年度予算額	差 額	備 考
Ⅰ 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入				
会費等収入	1,993,000	2,143,000	150,000	会員の91%の納入として算出
学術集会参加費等収入	620,285	500,000	-120,285	参加費@5,000×100名で算出
会費収入計	2,613,285	2,643,000	29,715	
② 雑収入				
受取利息収入	13	13	0	
販売収益	10,340	10,000	-340	機関誌販売@1,000
雑収益	21,026	21,000	-26	
受取寄付金	200,000	0	-200,000	
雑収入計	231,379	31,013	-200,366	
事業活動収入合計	2,844,664	2,674,013	-170,651	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
旅費交通費	128,840	9,013	-119,827	
通信費	39,342	40,000	658	
会場費	40,000	100,000	60,000	
支払助成金	460,000	390,000	-70,000	論文集計@30,000×3誌 研究助成金@150,000×2誌
消耗品費	70,195	59,000	-11,195	
謝礼金	245,002	250,000	4,998	
印刷製本費	1,474,485	1,400,000	-74,485	
事業費支出計	2,457,864	2,248,013	-209,851	
② 管理費支出				
通信費	1,994	2,000	6	
福利厚生費	92,307	3,000	-89,307	
会議費	140,000	4,000	-136,000	
事務委託費	321,700	322,000	300	
消耗品費	0	2,000	2,000	
支払手数料	21,481	22,000	519	
管理費支出計	577,482	355,000	-222,482	
事業活動支出合計	3,035,346	2,603,013	-432,333	
事業活動収支差額	-190,682	71,000	261,682	
Ⅱ 法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
当期収支差額	-261,682	0	261,682	
前期繰越収支差額	6,080,515	5,818,833	-261,682	
次期繰越収支差額	5,818,833	5,818,833	0	

→ 以上、異議なく承認された。

以上の通り、相違のないことを証明する。

議事録署名人： 永井 貴士



議事録署名人： 馬場 順子

